



「クレバ」この犬の名前に聞き覚えはないでしょうか。【GO FLY】 No64で紹介した警察犬の名前です。行方不明者を捜索中に、仕事を放り出して逃げた犬です。「仕事に不満でもあったのでしょうか、それとも何かおもしろくないことでもあったのでしょうか。職場を放棄し、そのまま逃走した犬に少々胸が高鳴った・・・」と、我が身に重ねて同情的に書いていましたが、そのクレバがみごと復活を果たしたという新聞記事です。

いろいろ失敗もあったけど、それを反省しつつも腐らずに、「いいことも必ずある」と信じて前向きにがんばってきたのでしょう。それでいい、それでいいのです。まじめに、前向きに考えて、コツコツ努力をするということ。その努力はどこかで報われるのです。そして、犬を使うほうも失敗したからといって罰を与えるだけではなく、再起を信じてチャンスを与えたことも見逃せないポイントです。

「犬」を「人」と読み替えて考えてみると、わたしたちの生活にも通じるところがあるように思います。犬も人も同じではないかと・・・



行方不明者の捜索後に山中で逃げ、3カ月の訓練を経て4日に現場復帰を果たしたばかりの兵庫県警の警察犬「クレバ」（シェパードの雄、2歳）が7日、神戸市内で行方不明になった高齢女性を発見する早速の「お手柄」を挙げた。捜索を要請した葺合署長から12日に表彰を受けた。

葺合署によると、7日午後0時半ごろ、神戸市中央区に住む80代女性の家族から「（女性が）家を出たまま行方不明になった」と通報があった。同署は午後3時ごろに警察犬の派遣を要請し、クレバが出動することになった。

クレバは女性宅で、女性が使っている枕の匂いをかぎ、午後4時半ごろに追跡を開始。地面に鼻をつけたまま約1・7キロの道のりを歩き続け、午後5時20分ごろ、中央区内の住宅街で路上にいた女性を見つけたという。女性にけがはなく、無事家族の元に帰った。追跡中は灘区の駅前を通ることもあったが、「通行量が多くいろんな匂いが入り交じる中、女性の匂いだけを嗅ぎ取っていた」（県警幹部）。地面にずっと鼻をつけたままだったクレバが顔を上げたその先を同行する捜査員が見ると、女性が立っていたという。



クレバは2020年10月に行方不明者の捜索で出動した福崎町の七種山（なぐさやま）山中で逃走し2日後に発見された。3カ月の再訓練を受けたうえ、GPS（全地球測位システム）付きの首輪を着けて現場復帰したばかりだった。

12日には山本真一・葺合署長が自らクレバを表彰する予定で、同署は「ご褒美というわけではないが、表彰状と犬用の骨の形をしたガムを贈りたいと思っている」と話している。